

# 15 企 業 局

## 目 次

- (1) 工業用水道施設整備事業（継続）……………549
- (2) 北谷浄水場活性炭設備改良事業（継続）……………550
- (3) 水道用水供給施設整備事業（継続）……………551

**基本項目：**新時代沖縄の到来

**実施項目：**企業の「稼ぐ力」の強化と産業の振興

**重点施策事業名：**工業用水道施設整備事業（継続）

**事業期間：**平成27年度～令和6年度

**部 課 等 名：**企業局 経営計画課

### 1 事業の目的・内容

県内産業の振興及び持続的発展を図るため、老朽化した工業用水道施設の計画的な更新・長寿命化及び耐震化を推進する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
工業用水 道施設整 備事業	1,346	工業用水を安定的に供給するため、老朽化した工業用水道施設（東系列導水路トンネル）を更新する。	1,346	工業用水を安定的に供給するため、老朽化した工業用水道施設（東系列導水路トンネル）を更新した。	最終予算額 1,346 執行率 100.0%

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 工業用水道施設整備事業

効果： 老朽化した工業用水道施設を更新することで、工業用水の安定供給が図られる。

また、老朽化施設の計画的な更新や耐震化を推進することで、持続可能な災害に強い工業用水道の構築が可能となる。

課題： 本土復帰後、早急に整備した工業用水道施設の経年化が進み、大量に更新時期を迎えるため、老朽化施設の計画的な更新に取り組む必要がある。

**基本項目：**安全・安心の沖縄へ、誇りある豊かさ

**実施項目：**米軍基地から派生する諸問題の解決と駐留軍用地の跡地利用

**重点施策事業名：**北谷浄水場活性炭設備改良事業（継続）

**事業期間：**令和元年度～令和5年度

**部 課 等 名：**企業局 配水管理課

### 1 事業の目的・内容

北谷浄水場の粒状活性炭をP F O S等の吸着効果が高い高機能活性炭に取り替える。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
北谷浄水場活性炭設備改良事業	420,178	1 北谷浄水場活性炭設備改良事業・高機能活性炭への取替え（活性炭吸着池の4分の1）	384,483	1 北谷浄水場活性炭設備改良事業・高機能活性炭への取替え（活性炭吸着池の4分の1）	最終予算額 411,202 執行率 93.5% 不要額 26,719

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 北谷浄水場活性炭設備改良事業

効果： 令和6年2月から4月まで濁水対策の一環として比謝川等中部水源の取水を行ったことにより、令和5年度の北谷浄水場原水のP F O S及びP F O A濃度の最大値は、1リットル当たり合計38ナノグラムとなったが、浄水場での活性炭処理により浄水での値は最大1リットル当たり合計5ナノグラムとなり、国の定める暫定目標値である合計50ナノグラムを大きく下回る値となった。

課題： 粒状活性炭は、長期間の使用においては過去に吸着されたP F O S等が漏出し、原水濃度が低い場合は原水より浄水のP F O S等濃度が高くなる逆転現象が発生する。このため、活性炭を適切なタイミングで取り替えていく必要がある。

**基本項目：**沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目：**生活基盤及び生活環境の充実・強化

**重点施策事業名：**水道用水供給施設整備事業（継続）

**事業期間：**平成23年度～令和13年度

**部 課 等 名：**企業局 経営計画課

### 1 事業の目的・内容

今後の水需要や水質の安全性を確保するため、老朽化した水道施設の計画的な整備や更新・耐震化を推進する。また、本島周辺離島8村への水道広域化のための施設整備を推進する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和5年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
水道用水 供給施設 整備事業	9,181,933 (3,696,951)	将来の水需要や 水源水質に適切に 対応し、安全な水 道水を安定的に供 給するため、水道 用水供給施設（北 谷浄水場等）を整 備する。	7,713,037 (3,691,616)	将来の水需要や 水源水質に適切に 対応し、安全な水 道水を安定的に供 給するため、水道 用水供給施設（北 谷浄水場等）を整 備した。	最終予算額 9,196,824 執行率 83.9% 翌年度繰越額 1,478,452 不用額 5,335

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 水道用水供給施設整備事業

効果： 今後の水需要に対応するとともに水質の安全性を確保するための水道施設等の整備を推進することで、安全で低廉な水道用水を将来にわたって安定的に供給することが可能となる。

老朽化施設の計画的な更新や耐震化を推進することで、持続可能な災害に強い水道の構築が可能となる。

課題： 本土復帰後、早急に進めてきた水道施設の経年化が進み大量に更新時期を迎えるため、老朽化施設の計画的な更新に取り組む必要がある。